

GREEN RANGER NEWS

2022年8月号 Vol.340



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■7月の活動報告

7月10日(日)[荒浜海岸林のクズの処理]

天気は最高？暑いなのって、暑い！先行して植林地へ入ったと思ったら、もっと先がいたようで草刈りをした跡がある。まずは気になる植林木、昨年7月とは違い、葉は茂り、暑さが何だ、もっと光をとっているようである。その要求を遮るかのようにヤマハンノキの成長の良いこと、枝葉を広げ、元気満々である。どうした訳かクズがほとんど生えてないので、急遽ヤマハンノキの枝打ちをすることにした。水分補給タイムを作りながらの作業であるが、スッキリとして風通しの良い風景に仕上がって行くのは心地良い。ヤマハンノキに助けられながら、草も生えてきた土壌の変化に適応しながら、もっともっと元気に成長してほしいと願う。何処から飛んできたのか、ネムノキが着床していた。

早めに作業が終わったので、他の植林地の見学に行く。どこに行っても暑い。それでも今日の仙台市荒浜海岸公園センターハウスは、海岸の清掃の日ばかりでなく、貞山堀での釣りなどで大賑わいである。私たちの入る余地はないようなので、昼ご飯を抜きにして解散とした。お疲れ様でした。参加者：7名



枝打ち作業中



終了後、ブナを囲んで

7月24日(日) [アカマツ伐採と高所枝打ち、自然観察]

梅雨明けが早く水不足が心配され、猛暑かと思いきや大雨による被害が起き、新型コロナウイルスが追い打ちをかけている。森づくり自然園は、幸いにも何も無かったかのようにアキアカネが無数に飛び交っている。もう、里に下りる準備をしているのだろうか。イノシシは相変わらず餌を探して地面を掘り続け、わずかに残っているヤマユリの根を食べてくれているようである。咲いているのを目にしたのは、幹の陰で隠れるようにして



高枝切り、彩遊の森午前

いる1本だけ、淋しい。

今日は、自然に太刀打ちできないが、幼木に少しでも光を与えてやろうと大木となったアカマツに挑む。高枝切りだけでは不十分なようなので、伐採することにした。安全と幼木の被害を考え、ロープで方向を定め、チェーンソーが始動、見事に目的の場所に倒れて行く。幼木の上に空が見えた、光が射してきた、自分の未来が開けたような気分になる。感心して眺めているだけでは申し訳ないので、細断された幹や枝を邪魔にならないところに運ぶ。何本か伐採して戻る途中、ヤマハンノキが他の木に倒れ



アキアカネ、ヤマユリ

掛かっていたので切断・撤去。観察路2度目の草刈りに感謝しながら作業小屋に戻り、解散とする。
参加者：4名

■今後の活動案内

[例会]

日 時 8月14日(日)10時

場 所 作業小屋

内 容 木工、自然観察

[例会]

日 時 8月28日(日)10時

場 所 作業小屋

内 容 笹枯れ地調査、自然観察